

臨床腫瘍学

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	1 人	(1 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	1 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	3 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	4 人	
合計	9 人	

2 教員の異動状況

●臨床腫瘍学講座

勝見 章 （特任准教授） （H24.12.1 ～H28.3.31）
 柄山 正人 （特任助教） （H26.6.1 ～現職）
 濱屋 寧 （特任助教） （H26.4.1 ～H28.3.31）

●腫瘍センター

太田 学 （病院講師） （H16.9.1～）
 （H24.1.1 ～現職、腫瘍センター副センター長、化学療法部副部長併任）
 柳生 友浩 （診療助教） （H24.4.1 ～H28.3.31）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	6 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	18.02	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)

(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

- Inoue Y, Inui N, Asada K, Karayama M, Matsuda H, Yokomura K, Koshimizu N, Imokawa S, Yamada T, Shirai T, Kasamatsu N, Suda T. Phase II study of erlotinib in elderly patients with non-small cell lung cancer harboring epidermal growth factor receptor mutations. Cancer Chemother Pharmacol. 76: 155-61, 2015 (IF:2.80) :
- Enomoto Y, Inui N, Imokawa S, Karayama M, Hasegawa H, Ozawa Y, Matsui T, Yokomura K, Suda T. Safety of topotecan monotherapy for relapsed small cell lung cancer patients with pre-existing interstitial lung diseases. Cancer Chemother Pharmacol. 76: 499-505, 2015 (IF:2.80) :
- Kusagaya H, Inui N, Karayama M, Fujisawa T, Enomoto N, Kuroishi S, Nakamura Y, Matsuda H, Yokomura K, Koshimizu N, Toyoshima M, Imokawa S, Yamada T, Shirai T, Hayakawa H, Suda T: Evaluation of palonosetron and dexamethasone with or without aprepitant to prevent carboplatin-induced nausea and vomiting in patients with advanced non-small-cell lung cancer. Lung Cancer 90: 410-416, 2015. (IF: 3.96) :
- Sahara S, Sugimoto M, Uotani T, Ichikawa H, Yamade M, Kagami T, Hamaya Y, Iwaizumi M, Osawa S, Sugimoto K, Miyajima H, Furuta T. Potent Gastric Acid Inhibition Over 24 Hours by 4-Times Daily Dosing of Esomeprazole 20 mg. Digestion. 2015;91(4):277-85. (IF: 2.10) :
- Kagami T, Sugimoto M, Ichikawa H, Sahara S, Uotani T, Yamade M, Hamaya Y, Iwaizumi M, Osawa S, Sugimoto K, Miyajima H, Furuta T. One-day front-loading with four doses of rabeprazole followed by a standard twice-daily regimen provides sufficient acid inhibition in extensive metabolizers of CYP2C19. Eur J Clin Pharmacol. 2015 Dec;71(12):1467-75. (IF: 3.00) :

インパクトファクターの小計 [14.66]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

- Ozawa Y, Omae M, Fujii M, Matsui T, Kato M, Sagisaka S, Asada K, Karayama M, Shirai T, Yasuda K, Nakamura Y, Inui N, Yamada K, Yokomura K, Suda T: Management of brain metastasis with magnetic resonance imaging and stereotactic irradiation attenuated benefits of prophylactic cranial irradiation in patients with limited-stage small cell lung cancer. BMC Cancer 15:589, 2015. (IF: 3.36) :

インパクトファクターの小計 [3.36]

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル 医薬ジャーナル社
弘前大学医学部附属病院心臓血管外科教授 福田幾夫 責任編集、日本医科大学武蔵小杉病院副院長/血管内・低侵襲治療センター長 田島廣之 編集委員、村瀬病院副院長/肺塞栓・静脈血栓センター長 中村真潮 編集委員、近畿大学医学部外科/近畿大学医学部附属病院安全管理部講師 保田知生 編集委員、浜松医科大学臨床腫瘍学講座特任准教授 勝見 章 執筆者)

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 27 年度
(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）	1 件 (140 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 日本医療研究開発機構（AMED）による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件 (0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(6) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件 (0 万円)

- (1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）

1. 勝見 章：血管老化におけるリポキシゲナーゼの細胞内局在制御システムの役割

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	4 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

3) シンポジウム発表

1. 勝見 章、臨床データからみた癌患者における血栓研究のすすめ～本邦での未検討領域を明確に～、第 37 回日本血栓止血学会学術集会 学術推進委員会 (SPC) シンポジウム“Cancer-Associated Thrombosis: an Overview”、2015 年 5 月 21 日、山梨県甲府市

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 勝見 章：日本血液学会代議員、日本血栓止血学会評議員、日本血栓止血学会学術推進委員会・癌と血栓症部会員、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医試験問題作成委員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	0 件

(2) 国内共同研究

1. 遺伝子改変マウスを用いた血球特異的 G T P a s e R h o F の機能解析

国立長寿医療研究センター研究所老化機構研究部 丸山光生部長、2015/4/1~2016/3/31

研究成果：Kishimoto M, Matsuda T, Yanase S, Katsumi A*, Suzuki N, Ikejiri M, Takagi A, Ikawa M, Kojima T, Kunishima S, Kiyoi H, Naoe T, Matsushita T, Maruyama M* (*corresponding author) RhoF promotes murine marginal zone B cell development. Nagoya J Med Sci. Aug;76(3,4):293-305, 2014.

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道